

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26221309	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	造血幹細胞のホメオスタシスの維持と破綻	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	須田 年生（熊本大学・国際先端 医学研究機構・卓越教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、巨核球から産生されるトロンボポエチンが造血幹細胞の静止期を制御することを見だし、造血幹細胞の恒常性維持機構における巨核球の重要性を初めて明らかにした。造血幹細胞におけるROS (Reactive Oxygen Specie (活性酸素)) 代謝、Folliculin の造血への関与の解析も進んでいる。また、p53 関連アポトーシス促進因子 ASPP1 が DNA 損傷蓄積、前白血病状態とも関連することを明らかにしている。造血幹細胞、ニッチの研究は順調に進展しており、今後の成果が期待できる。</p>		